



菊地 公史  
(公明党)

**介護従事者の  
スキルアップに向け  
積極的取り組みを**

**問** 国では介護人材の確保に向け、今回の制度改正に新たな基金の創設を盛り込んだところである。また、県においては、資格取得支援などの人材育成に加え、今後、制度改正を踏まえ、新たな基金を創設すると聞いている。

現在、市の役割として取り組んでいる介護従事者のスキルアップについて、より一層積極的に取り組んでいくべきと考えますが、どうか。

**答** 市では、介護従事者のスキルアップを図るため、介護知識の向上のための研修に加え、介護サービスへの提供にあたり必

要となる感染症対策などの医療知識の向上のための研修を行っている。

また、認知症高齢者の増加に対応するため、医療・介護従事者合同研修会などで認知症医療に関する知識の習得などにも取り組んでいるところである。



**その他の質問項目**

- ①健康診査の受診率向上対策
- ②ひきこもりの自立支援
- ③地方版経済成長戦略
- ④農業を成長産業に
- ⑤小規模医療機関へのスプリンクラー等の設置に向けて
- ⑥教員が教育に専念できる環境整備



馬上 剛  
(自民党)

**26年度全国学力・  
学習状況調査の  
市の結果は**

**問** 過日発表のあった26年度全国学力・学習状況調査の結果で、県において全国平均を下回る結果となった。

市では昨年度の調査結果で全国平均を上回っていたが、今年度の結果と今後の課題は。

**答** 本調査は、小学校6年生の国語、算数、中学校3年生の国語、数学で実施され、児童生徒の平均正答率は、全ての学年・教科で全国平均を上回っており、中でも小学校では基礎的知識を問う問題が、中学校では活用問題が、全国平均に比べ1.5ポイントから3.6ポイント高い結果となった。

この要因としては、市独自に学力向上非常勤講師などを配置して小中一貫教育や習熟度別学習を推進したこと、各学校で

繰り返し学習を実施し、児童生徒ひとり一人に応じたきめ細かな指導に取り組んできたことなどが考えられる。

小学校での家庭学習の時間が全国平均よりやや低い状況が見られることなどから、今後、調査結果を詳細に分析し、成果と課題及び対応策を明らかにしながら、今年10月には、各教科の平均正答率と併せて公表していく。

**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢中期財政計画と持続可能な財政運営ほか
- ②都市基盤の機能と質を高める施策
- ③市民の安全で健康な暮らしを支える施策
- ④市民の快適な暮らしを支える施策
- ⑤市民の豊かな暮らしを支える施策
- ⑥子どもたちの教育と豊かな心を育む施策



▲授業の様子



今井 政範  
(自民クラブ)

**新制度の円滑な  
スタートを**

**問** 27年度から開始される「子ども・子育て支援新制度」について伺う。

①市の単独事業で、市長が守っていききたい項目と、これから伸ばしていきたい項目は。

②障がい児を含め、全ての子どもがしっかりとどこかの施設に入ることのできる体制を整えることは、市の責務では。

**答** ①新制度の事業者に対する給付の基礎の公定価格は、施設運営の実態を踏まえ、消費税率引き上げによる財源を活用した保育の質・量の改善を反映するものとされている。市は健やかな子どもへの育ちに必要環境づくりのための人材の育成・

確保を図り、保育の質の向上により効果的な市単独事業を検討していく。

②新制度では、障がい児を受け入れる施設について療育支援加算や障害児保育加算が設けられるなど、障がいのある児童の受け入れ体制がこれまでに以上に整えられる。

しかし、見守りや安全確保、医療的ケアが必要な児童が保育を必要とする場合、保育スペースや看護師が必要になるなど課題があるため、保護者の希望や児童の状況を踏まえ、施設と連携し、適切な受け入れ体制を整えるなど、各施設における受け入れ促進に向けた取り組みを強化していく。

**その他の質問項目**

- ①子ども・子育て支援新制度（高層階での保育ほか）
- ②住民参加の公園の整備・活用
- ③太陽光発電④みやハローワーク⑤AEDの利用促進⑥再開発事業により整備されたマンションの定住促進を図るための購入要件の小学生のスマートフォン等の使用制限